

第51号

2020年11月発行



小菅村 議会だより

発行:小菅村議会

編集:小菅村議会広報委員会

〒409-0211 山梨県北都留郡小菅村4698番地 ☎ 0428(87)0111

<http://www.vill.kosuge.yamanashi.jp>



コロナに負けるな

小菅村社会福祉協議会 タマリバ広場より

今年は画面上で学生との交流を(表紙写真)

小菅村では、都心の大学生の受け入れを積極的に行い、村全体を学びの場として様々な活動を行っています。お年寄りの集う「タマリバ広場」でも、学生との交流を楽しみにしている方が大勢います。残念ながら、新型コロナウイルス感染症防止のため、ほとんどの学生が村内での活動を自粛しているため、現在はパソコンを使っての交流を行っています。

一日も早くコロナが終息し、小菅村で皆さんと再会できることを心待ちにしています。

(写真・文書提供:小菅村社会福祉協議会)

目次

- 9月定例会・視察実施について
- 8月臨時会について
- 9月議会一般質問
- 話題の人
- いつまでもお元気で
- 議会活動状況報告
- 議会だよりを読んで
- 編集後記

令和2年9月定例会で決まった主なこと

令和2年9月10日(木)から9月18日(金)までの9日間の会期で開催されました

審議された議案

村長提出議案・・・20件 ● 選挙・請願・意見書・・・各1件

決算認定

補正予算

令和元年度一般会計・特別会計決算を同意しました

令和2年度一般会計・特別会計補正予算を可決しました

令和元年度一般会計 (万円未満四捨五入)

歳入・・・13億6,670万円

歳出・・・12億4,512万円

歳入歳出差引・・・1億2,158万円

うち繰り越し事業に充当するお金・・・

1,174万円

純繰越金 1億984万円

一般会計補正予算(第4号) (万円未満四捨五入)

1,536万円の増額

合計額 17億4,364万円

介護保険特別会計補正予算(第1号)

228万円の増額

合計額 1億6,920万円

決議事項

請願・意見書

山梨県東部広域連合解散及び財産処分について

教職員定数改善、少人数学級推進、及び義務教育費国庫負担制度拡充を図るための請願書及び意見書

令和3年3月31日をもって山梨県東部広域連合は解散され、財産が処分されることになりました。

義務教育の振興を図るためには教職員定数の改善、国庫負担制度の拡充が必要と考え、全会一致で採択され、村議会として国に要望するために意見書を提出することとしました。

令和元年度 特別会計の決算

単位:万円

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険	1億800	9,880
国民健康保険診療事業	6,534	5,923
簡易水道	1億4,856	1億4,216
特定環境保全公共下水道	1億4,727	1億4,180
農業集落排水事業	1,094	1,011
介護保険	1億9,624	1億6,817
介護サービス事業	24	0
後期高齢者医療	1,273	1,118
合計	6億8,932	6億3,145

村で策定している過疎計画の一部が変更となりました。

小菅村過疎地域自立促進計画変更の件

人事案件

小菅村選挙管理委員会委員、補充員が指名推選されました。

【選挙管理委員会委員】

降矢茂助氏 加藤源久氏 佐藤英敏氏 亀井雄次氏

【補充員】

船木孝幸氏 木下大吉氏 細川たかね氏 加藤寛治氏





▲ 小菅橋架け替え工事の説明を受けました



▲ 田元地区を視察する様子

村内全地区を周り、課題の確認を行いました

9月定例会会期中に、課題のある個所を中心に村内全地区の視察を行いました。
全地区を回り現状を自分たちの目で見ることで、改めて課題を確認することができました。
今後も定期的に現状を把握し、課題解決に努めてまいります。



▲ 白沢地区を視察する様子



▲ 中央公民館1階を視察(つくる座)

- 一般会計補正予算(第3号)
5,346万円の増額
合計額 17億2,828万円
- 本会議終了後、全員協議会にて行政職員との意見交換を行いました
- 新型コロナウイルス感染症対策、第1次、第2次臨時交付金の活用方法と事業の進み具合について
- ニホンザルの捕獲について、群馬県川場村の先進事例と今後の計画について
- 村内の国道県道、河川等の改善要望箇所について
- 大月市消防署小菅出張所新築工事の進捗状況について
(現地視察を行いました)

令和2年度一般会計補正予算を可決しました

審議された議案
村長提出議案…1件

令和2年8月臨時会で
決まった主なこと
令和2年8月7日(金)1日間の会期で
開催されました

一般質問

9月定例会では3名が村政について
質問を行いました

一般質問とは…

議員が村長等に対して行政全般の事務の進み具合や
将来の方針などの諸問題について質問することです。



船木 喜康

新型コロナウイルスによる観光、商工
業衰退を止めるための対策について

問…村や源流大学が企画する宿泊プラン、イベ
ントの考えは？

答…【源流振興課長】コロナ禍の現状では今す
ぐイベントを開催することは困難である。

今できる対策として
商工業者への助成金
や家賃補助、ギフト
券や商品券の配布な
ど、継続して営業で
きるよう支援をさせ
ていただきたい。
大学生は登校ができ
ない状況が続いてい
る。源流大学では村
を感じる在宅用実習



▲ 農大生に配布した在宅用実習キット

キットを作成し自宅で体験学習が行えるよ
うに取り組んでいる。

【村長】大学自体の村内実習の許可が出て
いない状況である。村でも基本要綱を定め
できる限り3密を避けた取り組みを進め
ていきたい。

安心して住める村づくりについて

問…屋外用防犯カメラの現状と新規設置の必
要性は？

答…【総務課長】不法投棄監視のため村内1か
所に設置している。大変高価であり、プライ
バシーの侵害等適正な管理が求められる。
本村は各集落が離れているので今後検討し
ていく。

問…車輛への安全装置の購入補助の考えは？

答…【総務課長】ブレーキアシストという車の安
全装置の設置を、国や東京都では補助金制
度を創設している。高齢者の多い本村では
重要な課題であると認識している。制度の
啓発普及に努め、需要に応じて検討してい
く。

問…子供たちの見守り、避難できる家、施設の
登録は？

答…【教育課長】過去スクールガードリーダーを
委嘱した経過はあるが、活動条件等が本
村の規模に沿わないこともあり、現在は見
送っている。現在は完全集団登下校、スクー
ルバスの運行を行っている。地域の皆様の見
守り支援こそ重要であると考えている。

避難できる家の登録は警察署が中心とな
り、情報連携と共有を行い、村内11か所を
子供110番の家として登録している。

有害鳥獣対策について

問…村で設置した獣害防止柵の管理の状況は？

答…【源流振興課長】維持管理は地権者におい
て実施していただくようお願いし引き渡
している。高齢化により困難である状況は
理解しているが、その中でもしっかりと管
理している地区もある。通電による障害等
は村で柔軟に対応している。今後も地権者
において管理をお願いしたい。

【村長】自助、共助、公助という考え方が村
づくりの基本であると思うのでぜひお願い
したい。

問…サル捕獲用オリの設置は？

答…【源流振興課長】今後2基整備する計画で
ある。村内状況を十分調べて今後進めてい
きたい。

一般質問



細川 春雄

特別交付税の減額に伴う今後の行財政運営について

問…特別交付税がここ2年大幅に減額されている状況と要因をどう考えているか？

答…【総務課長】特別交付税は各自治体の特殊財政事情に応じて交付される。要因を探るべく減額幅の提示について県当局に依頼しているが、交付内容の提示はしない方針だと回答を得た。納得できるものではないと考えている。今回一般質問も出たことも踏まえて引き続き県へ提示を求めている。

問…特別交付税が増額されるように何か対策を講じているのか？

答…【村長】特別交付税は算定基礎により交付されるものであり、その算定基礎となる明

細が分からなければ何もできないが、鋭意努力していく。

問…配分を決定している山梨県への要望運動が大事だと思うが？

答…【村長】県内の首長とも話をする中で、特別交付税が減ったからといって陳情や要望するということは私の知り得る限りではない。今後要望活動等、議員からも御指南をいただきたい。

問…本年度、財政調整基金の取り崩しを予算化しているが、どの事業に充当しているのか。

答…【村長】財政調整基金は財政全体の健全な運営に使う性質の基金であり、具体的に何に使うという明確なものはない。建設等に使う場合は公共施設整備基金がある。

問…財政調整基金はコロナ対策のために残しておくべきではないか？

答…【村長】コロナ対策は国から来る交付金をほぼ活用している。

村営住宅の状況について

問…中央公民館前に建設している集合住宅の建設状況と完成後の入居者の選考は？

答…【源流振興課長】集合住宅は木造2階建

て4世帯の单身対応として12月25日完成を目指している。商工会からの要望があるほか、役場職員、消防職員、協力隊などの入居が考えられる。選考方法は今後検討していく。



▲ 公民館前に建設中の集合住宅

問…タイニーハウスの検証と建設予定は？

答…【源流振興課長】タイニーハウスは地方創生事業の中で、新たなライフスタイルを提唱し観光、移住の促進を図り、新たな産業として事業を展開していくことを目標にスタートした。量産化やコストダウンの可能性について課題を明確にしてきたが、販売方法の確立まで至っていない。村内では喫緊の課題である移住者用の住宅として整備してきた。今後も必要に応じて建設を進めていきたい。

問…既存の村営住宅の営繕状況は？

答…【源流振興課長】経年劣化による修繕は常時行い、また退去時にも必要に応じて修繕している。本年度公共施設個別実施計画を策定中である。計画策定のため村内全公共施設の劣化状況を調査しており、今後はこの計画を活用し、計画的な修繕を目指していく。

一般質問



古菅 立身

小菅村地域おこし協力隊について

問…協力隊の受け入れ先について、民間企業も可能なのか？

答…【村長】民間企業という定義は難しいが、村の特産品に関わる事業や、観光事業等への担い手不足解消などに活躍してくれる人材を募集していきたい。

問…協力隊の給与、経費の状況と、個人の収入の解釈は？

答…【源流振興課長】本年度より協力隊は雇用契約の発生しない委託契約となった。そのため給与ではなく委託料として支払いしている。一人あたり委託料は年間250万円、活動経費は150万円となっている。委託契約となったことから、協力隊としての活動時間以外に発生する収益は個人で受

け取る形態となっている。

問…地域に協力隊の顔がよく見えていないと聞か？

答…【村長】個人をPRすることは限界がある。やはり一番は本人が地域に入ることである。地域行事や消防団活動に参加はしていただいていると思うので、今後積極的な地域の行事等に参加してもらうことが大事だと考えている。

問…「古民家ホテル」や「つくる座」が、受け入れ先となっている理由は？

答…【源流振興課長】「古民家ホテル」は地方創生事業の中で、観光客の新たな受け入れの可能性を目指して調査研究した結果、古民家再生事業が進められ「EDGE」という会社が設立された。現在は会社の立ち上げ期として協力隊を配置し活動している。「つくる座」も同様に地方創生事業の中で、村の木材を使った新たな特産品開発を目指して手掛けた事業であり、活動に共感した人材を協力隊として配置し活動していただいている。

小菅の湯の薪ボイラー導入について

問…導入の遅れの要因は？

答…【村長】本年度は大月市消防署小菅出張所

の建設工事が既に予定され、大きな事業が2つ

となると大変厳しい財政状況となるため、薪ボイラー事業は次年度へ見送った。また小菅の湯内で使用しているヒートポンプのリースが来年の7月まで残っていることも、次年度とした要因である。



▲ 薪ストックヤード視察の様子

問…薪ボイラー導入による村の活性化への具体的な方策は？

答…【源流振興課長】現在、北都留森林組合からの木材の供給、日影対策、建設支障木、東京都水道局からの材を利用しながら、協力隊員1名が薪づくりを行っている。将来的には個人からの買取も視野に入れている。これまで手の入らなかつた森林を薪に活用できる仕組みづくりができることや、薪ボイラーの導入は、単に小菅の湯への熱源供給だけでなく、村全体の林業振興につながると考えている。

問…廃材は使用できるのか？

答…【村長】廃材は産業廃棄物扱いになるので、しっかりとした許可行為を受けてからの処分が必要となるためハードルが高い。

話題の人

あさえ
志村 照恵 さん
地域おこし協力隊
(古民家ホテルEDGE所属)

こんにちは！ NIPPONIA 小菅 源流の村で勤務している、志村 照恵です。

仕事の内容は、簡単に言うと当館での滞在を通して、小菅村の良さを村外の人に伝えています。

昨年7月に都内から越して来ました。

移住して1年以上、未だに田舎とのギャップに悩まされることもあります。ホテルの近所に住む方々には困ったことがあれば、助けてもらったり、おやつをもらったり、かなり甘やかしていただいています。

小菅村の1番の魅力は人だなあと日々感じています。
これからもよろしくお願いします。



いつまでもお元気で

● 杉田すゑ子さん

(小永田地区) 11月で100歳!!

「議会だより」ではお元気にご活躍されている村の皆様にスポットを当てています。
今回は小永田地区の杉田すゑ子さんのお元気な様子とお話を伺うことができました。

Q 長生きの秘訣は何ですか？

A くよくよしないで楽しく生きる。
姉さんも103歳まで生きたので、
私も頑張っておきたいと思っています。

Q 民宿を営業されていましたが？

A いろいろな人に泊ってもらい大変だったけど、
お話ができて楽しかった。

Q 村や議会に何か要望はありますか？

A 特にありません。
村の皆さんに元気で過ごしてほしいです。



ご自宅で民宿を営んでいた時の話を、懐かしそうにお話しされていました。
すゑ子さん100歳おめでとうございます！いつまでもお元気で！



小菅村社会福祉協議会と 意見交換を行いました

9月定例会会期中に、小菅村社会福祉協議会の職員との意見交換を行いました。

「自分の老後のイメージは？」との職員からの問いに議員全員から様々な意見がでました。

「小菅村で安心した老後生活を送るためには何が大事なのか」これからも定期的に議論を重ねていきます。

議会活動状況について

令和2年6月～令和2年8月

6月

5日(金)

議会全員協議会 全議員出席

9日(火)

新議員勉強会 中川・細川議員出席

11日(木)

令和2年第1回例月出納検査
監査委員出席

12日(金)

奥多摩町長、正副議長訪問
正副議長出席

17日(水)

議会運営委員会 委員長以下1名、
正副議長出席

23日(火)

6月議会定例会開会 全議員出席

7月

8日(水)

第2回町村議会議長会議 議長出席

13日(月)

山梨県東部広域連合議会運営委員会
総務教育委員長出席

14日(火)

第1回町村議会広報編集委員長会議
広報委員長出席

15日(水)

第1回町村議会運営委員長会議
議会運営委員長出席

17日(金)

山梨県東部広域連合議会7月定例会
総務教育委員長出席

27日(月)

リニア中央新幹線建設促進
山梨県期成同盟会総会 議長出席

8月

4日(火)

議会運営委員会
委員長以下2名、正副議長出席

7日(金)

8月議会臨時会開会 全議員出席

7日(金)

議会全員協議会 全議員出席

17日(月)

地方創生担当大臣山梨県視察対応
正副議長出席

議会ボランティア活動を行いました —10月4日(日)—



玉川橋周辺の草刈りの様子



もみじ橋周辺の草刈りの様子



景観美化の一環としてもみじ橋、
玉川橋周辺の草刈りを行いました。

議会だよりを読んで

佐藤 千代子 さん (中組地区在住)

小菅村女性の会・愛育会員として、9月の議会を少し緊張しながら傍聴させていただきました。
一般質問を聞く中で、「一括質問」と「一問一答質問」との区分があることも初めて知った次第です。
特に「一問一答質問」を聞いていて、村の課題解決に向けての取り組みが少しずつ分かってきたように思います。
あわせて議会だよりを読むことで、議会の活動の様子がみえてきます。
村民目線の分かりやすい言葉による、分かりやすい紙面を願っています。

編集後記

9月定例会も数名の方に傍聴していただきました。
議会活動の一環として傍聴してもらえるのは私達の励みにもなります。
今後も読まれる議会だより発行に努めてまいります。(古家静男)

議会広報委員会

委員長：古家 静男
委員：古菅 立身
委員：船木 喜康